



# ロータリー財団 佐々木 啓策会員

今から約 100 年前の 1917 年に、当時の RI 会長が“世界で何か良いことをしよう”と呼び掛けてロータリー財団が創設されました。財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。財団は公共慈善団体であり、管理委員会によって管理されています。2023 年度の管理委員長はバリー・ラシン元 RI 会長です。プログラムとしてはポリオ根絶、ロータリー平和フェロシップ、補助金の活動を行っています。ロータリー財団活動は「超我の奉仕」の“財源”を、皆様に寄付としてお願いし、その財源で世界中の国や地元で奉仕活動を行います。2021 年度寄付総額は 3 億 7 千万ドル、日本円で約 480 億円です。2021 年度支出総額は 3 億 3 千万ドルで、39%がプログラムと運営費に使われています。財団は、チャリティ・ナビゲーターから 14 年連続で 4 つ星評価を受けています。寄付金が効果的にプログラムに活用され、健全なガバナンスが保たれているとお墨付きをもらっているということです。

補助金には、グローバル補助金、地区補助金、災害救援補助金、大規模プログラム補助金の 4 種類あります。

グローバル補助金は、実施国と援助国のロータリーが共同で実施する総額 3 千万ドル以上の活動で、内容がロータリーの 7 つの重点分野のいずれかに該当しなくてはなりません。日本のクラブが援助国側となり、現地のクラブと一緒に活動するケースが多く見受けられます。重点分野は「環境」が加わり 7 つになりました。世界全体では、2021 年度グローバル補助金は 1,199 件でした。「疾病予防と治療」の重点分野が 570 件、3 億 8 百万ドルと一番多かったようです。

地区補助金は、1 年以内に完了する活動でクラブ単独で実施できます。実施地は国内外どちらでも問題ありません。国内の場合は、当地区内（東京北部と沖縄県内）での活動を優先して支援します。プロジェクトは、地区内の RC およびローターアクトクラブが主体となって直接的に立案・実施します。弱者救済の活動、本当に困っている人々を支援するもの、人道性があり、地域の緊急のニーズに応えるものが理想です。地区補助金を使う活動としてふさわしくないものがあり、これらの事項にあたりと支援は認められません。他団体の活動や、地域の少年野球等のイベントには補助金を使えません。支援を考えているエリアにどのような問題があり、他団体はどのような活動で支援をしているか知ることは重要ですが、問題解決の一助となるために、RC として独自の活動ができないかを考える必要があります。

2024-25 年度地区補助金の申請受付期間は 2024 年 1~2 月です。RC が申請する場合の地区補助金の支援額は、上限 60 万円かつ総額の 80%です。総額 75 万円の活動が、クラブ拠出金 15 万円だけで実施できるということです。補助金は私たちの寄付が原資です。しっかり寄付し、しっかり補助金を使うというのが理想です。ローターアクトクラブも地区補助金を使えるようになり、2024-25 年度に東京ワセダローターアクトクラブがはじめて地区補助金を使った活動を行います。ローターアクトクラブは活動が小規模で、クラブの資金力がないため、地区補助金の支援上限額は 30 万円かつプロジェクト総額の 90%までという基準で当地区ではスタートしました。

ロータリー災害救援基金への寄付が、災害救援補助金の原資となり復興活動に生かされます。申請できるのは、被災地域になる地区です。2020 年度はマラリアのないザンビアのための活動が受領しました。ロータリー財団の 200 万ドルの補助金に、ワールドビジョン U.S. とゲイツ財団がそれぞれ 200 万ドルをプログラムに寄付し、600 万ドルの補助金となりました。

ポリオの正式名称は「急性灰白髄炎」、一般に「小児まひ」とも呼ばれます。感染者の便にあるウイルスが、手や指を介して口から侵入し、主に 5 歳未満が感染します。ポリオはワクチンで予防可能ですが治療法はありません。ウイルスは人の体内でしか繁殖できず、体内、また体外で生きられる期間も短いため、感染の連鎖を断ち切ればウイルスを根絶できると考えられています。

ロータリーは 1985 年からポリオの根絶を目指し、24 億ドル以上の資金を投入してきました。122 カ国、30 億人近くの子どものワクチンを投与する活動にボランティアとして参加してきました。ポリオプラスプログラムは、子どもを対象とした予防接種を通じてポリオの根絶をめざす、世界で初めての取り組みでした。ワクチンを凍ったまま運ぶ方法などポリオ根絶活動のために築かれたインフラは、新型コロナウイルスなどの他の疾病の治療と予防にも利用されています。1979 年にフィリピンの子どもたちにポリオ予防接種をはじめて以来、パートナー団体とともに活動を続け、全世界でポリオの発症数を 99.9%減らすことに成功しました。アフリカは 2020 年にポリオ根絶の宣言がされ、現在、野生型ポリオウイルスの常在国はパキスタンとアフガニスタンの 2 か国だけになっています。ポリオ根絶活動のおかげで、身体まひとならずにすんだ人の数は推定約 1940 万人、命を落とすことのなかった人の数は推定 150 万人以上に上ります。ロータリーは 1985 年にポリオプラスを立ち上げ、1988 年からは世界保健機関 (WHO)、米国疾病対策センター (CDC)、UNICEF (国連児童基金)、ビル&メリнда・ゲイツ財団、Gavi ワクチンアライアンスと共に、「世界ポリオ根絶推進活動 (GPEI)」を主導しています。その活動により 270 億ドル以上の医療費が節約されています。

このポリオ根絶活動をロータリー財団の事業として取り上げさせたのが、東京麹町 RC 会員であった山田ツネ氏でありました。もうお一方、峰英二さんという方も大変功績を残してらっしゃいます。個人的な旅行で現地に行ってポリオの悲惨さを見てお帰りになり、もう一度自分たちでポリオワクチンを持って、2 人だけでこのポリオの撲滅運動を始めたという方です。お 2 人とも現地の風土病に侵され、それが原因で亡くなっています。

ロータリーは現在、さらに年間 5,000 万ドルをポリオ根絶活動に拠出することに力を注いでいます。この資金に対し、ゲイツ財団は 2 倍額を上乗せすることを約束しました。ポリオが世界から根絶されれば、天然痘に続いて 2 番目に根絶される疾病となり、歴史上で最も偉大な公共保健での達成の一つとなります。

ポリオを永遠になくすためにご協力ください。

- ・ポリオプラス基金に、お 1 人 30 ドル以上のご寄付
- ・ポリオ根絶のチャリティーイベントのご計画をぜひ
- ・第 2580 地区は 2024 年 4 月 25 日に水海道ゴルフコースにてチャリティーゴルフ大会を行います。ゴルフ好きな方はぜひご参加ください。以上でございます。